

公益社団法人日本天文学会理事会議事録

日 時：2014年9月11日（木） 19:15 - 20:55

場 所：山形大学年会会議室（基盤教育1号館2階124号室）

出席理事：櫻井、奥村、中村、本原、熊谷、松尾、茂山、宮田、山岡、滝沢、林田（以上11名）

出席監事：郷田（以上1名）

欠席理事：青木、石丸（以上2名）

欠席監事：尾中（以上1名）

欠席年会開催地幹事：須佐（以上1名）

また、西野事務長が出席した。

I. 確認事項など

I-1 議事に先立ち、出席理事が11名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：櫻井隆

署名人：櫻井隆、奥村幸子、山田亨、郷田直輝

I-2 前回議事録

資料2に基づき、2014年5月25日の理事会議事録が報告・確認された。

II. 報告

II-1 移籍・退会報告（資料3、中村）

2014年5月20日より2014年8月31日までの間の移籍・退会者数が報告された。

準会員から正会員への移籍会員数は1名、退会者数は2名（正会員1名と準会員1名）であった。

II-2 開催中の年会に関する報告およびそれ以降の年会の進捗状況報告

1. 開催中の年会（山形大学）について（滝沢）

おおむね順調に進んでいる。前日に行われた学会の記者会見は研究発表が2件、その他が1件あった。ネットワーク接続に関するトラブルがあった。プロジェクターケーブルの不具合が数件報告された。

2. 年会登録状況（宮田）

講演総数は709件、無断キャンセルが2件あった。企画セッションは3件。

おおむね順調。ポスター講演について、今回からポスターが張られているかどうか確認している。張られていないものはキャンセル扱いする。今回からPDF版の予稿集を公開した。

3. 大阪大（林田）

公開講演会は、大阪科学館と共催で大阪科学館スペシャルナイトイベントとして開催する。300名予約制、無料で行う。タイトルは「プラネタリウムと天文学の夕べ」で、講師は愛媛大谷口さん、阪大寺田さん、深川さん。公開講演会の後援はこれから教育委員会等から取る予定。ポスター会場として使う体育館の床の養生が必要と言われ、業者を探している。ネットワークは1000個確保し、eduroamも使うことを想定している。10月に年会開催地HPを準備予定。

II-3 事業担当理事の近況

1. 月報（中村）

青木理事が欠席のため、事前に送られた報告を中村が紹介した。天文月報は順調に毎号の発行を続けている。野辺山電波ヘリオグラフ、太陽型星におけるスーパーフレアについて、3号ずつにわたって特集した。2014年11号以降、TMT特集（3号）、シミュレーション特集（2号）を予定している。最近、多く投稿をいただけるようになってきているが、引き続き積極的な投稿をお願いしたい。

2. 庶務（中村）

事務所職員と会計理事とともに、内閣府事業決算報告を作成し、6月に提出した。学会事務所の規程の修正案の作成を進めている。給与規程や就業規則は年度内に改定を目指す予定である。最新版が資料として紹介された。会計年度の変更、常勤、非常勤の区別の明確化、定年の決定などが主な変更点である。事務所職員との交渉など詳細は実務理事に一任していただく。

3. 会計（熊谷）

来年度予算案作成の準備を始める。各委員会に予算案作成を依頼し、12月までに予算案を作成する予定である。来年度の会費について、消費税に伴う変更はない。

4. 天文教育（山岡）

天文教育フォーラムは150名程度の参加者で盛況であった。これからの学校教育における天文学について議論した。本年会では、ジュニアセッションのポスターが3件ある。大学教育の質保証について提言をまとめることになっている。学習指導要領への提言もまとめる予定。後者については理事会で承認を取り、代議員総会で報告予定。国際光年についてIAUアウトリーチ部門から協力要請があった。系外惑星の命名について日本天文学会の記者会見で発表した。

5. PASJ（茂山）

最新の通常号は8月27日に4号をonline出版。特集号について、Hinode特集号は8月末に原稿を締め切り、11月に出版予定。来年度はSubaru特集号とシミュレーション特集号を予定。2013年のインパクトファクターが2.009に下がった。2011年出版論文の引用数が低かったのが原因と分析している。2012年は2.439であった。2012年出版論文の引用率は例年並みなので来年は持ち直すと予想。OUPが新しいclassファイルの作成を検討中。

II-4 全国同時七夕講演会の報告（山田）

93件の講演会が開かれた。例年通り盛況であった。

II-5 事務所の近況報告（西野）

特になし。

III. 議題

III-1 新規加入者の承認（中村、資料3）

全会一致で承認された。

III-2 年会関連の変更について（櫻井、資料4）

1. 予稿集の電子化と紙版廃止について

今回の年会から、予稿集のPDF版がウェブに公開された。来年度に向けて、予稿集の予約購入をやめるかどうかの希望調査をする。紙版廃止と電子版の書式改訂については継続審議とすることになった。

2. 年会開催地の立候補制

これまでは主に庶務理事が内々に調整し、年会開催地を決定してきたが、透明性に欠けるので、2017年秋季年会から立候補を受け付けることが全会一致で承認された。

III-3 年会における非会員の講演について（櫻井、資料4）

これまで非会員の講演は比較的高い講演料を徴収して認めてきたが、利益が出すぎていて、非会員のまま何年も講演を行うことは会員の活動としての年会の趣旨に合わないことから、非会員の講演申込は1回のみ認めることについて議論され、全会一致で承認された。なお非会員の事前支払いについては従来通りの取り扱いとすることとした。次の年会から実施する。

III-4 キャリア支援委員会の設置について（櫻井、資料5）

天文宇宙分野では古くからオーバードクター問題というのがあった。その後、PD研究員のポストが大幅に増加したが、常勤ポストは増えず、若手研究者・学生の研究意欲を著しく阻害する要因となっており、日本天文学会としても何らかの対応策を実施したいと考えている。2条委員会、3条委員会としてスタートさせるか、4条委員会として設置するかが議論され、まず4条委員会としてキャリア支援委員会を設置するということが提案され、全会一致で承認された。

[資料リスト]

資料 1 理事会出欠表

資料 2 前回理事会 (2014/5/25) 議事録

資料 3 新規入退会・移籍者などの報告

資料 4 年会関連の変更について

資料 5 キャリア支援委員会の設置について

2014年 9月 11日

会 長：櫻井 隆 印

副会長：山田 亨 印

副会長：奥村 幸子 印

監 事：郷田 直輝 印